

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	さいたま市総合振興計画審議会第1部会(第6回)
2 会議の開催日時	平成25年10月22日(火) 14時00分から15時30分まで
3 会議の開催場所	ときわ会館5階 501会議室
4 出席者名	審議会委員: 作山康部会長、久野美和子副部会長、秋元智子委員、石關精三委員、猪瀬良一委員、上田彰一郎委員、丸山繁子委員、茂木泰和委員、吉田貴昭委員 事務局: 江口明男、松井雅之、小島豪彦、松尾真介、富田昌洋、猪狩文康、南友和、池田宜弘、鈴木慶一
5 議題及び公開又は非公開の別	議題 ・パブリック・コメントの意見について ・その他 公開又は非公開の別 公開
6 非公開の理由	—
7 傍聴者の数	0人
8 審議した内容	別紙、議事概要のとおり
9 問合せ先	政策局政策企画部企画調整課 電話番号 048-829-1035
10 その他	

さいたま市総合振興計画審議会 第1部会（第6回） 議事概要

さいたま市総合振興計画次期基本計画（素案）について実施したパブリック・コメントで寄せられた市民意見の概要を確認した後、パブリック・コメント意見に対する審議会としての考え方について審議しました。

議題（1）パブリック・コメントの意見について

事務局から、資料に基づき、パブリック・コメントで寄せられた意見の概要について説明がありました。

【主な意見】

○計画全体に関する意見

- ・スクラップするものが示されていないという意見があるが、不要なものや時代に合わないものへの対応については、「選択と集中」など他の表現で示されている。
- ・さいたま市の特徴がないという意見があるが、審議会ですいぶん議論してきたつもりである。
- ・トップダウン型で強く市長の意向を打ち出している計画が多い中、さいたま市の基本計画は非常に民主的で、これだけ市民の意見を聞きながら、市民と一緒に作り上げてきた計画は珍しく、これがさいたま市の特徴だと感じている。市長のカラーが色濃くないため、市民には特徴がうすいと映っているような気がする。
- ・自転車の活用や太陽光発電などさいたま市が先進的に取り組んでいることをキーワードとして盛り込んでどうか。
- ・多様で元気な市民と協働・協創を目指している先鋭的な地域であることをこの地域の総合的な特色として示すために、そのような環境の中で作られてきた計画であることを盛り込むと良いのではないか。

○後期基本計画の策定に当たって

- ・財政変化のシミュレーションができると良いとの意見があるが、税収の関係もあり難しいが、当たるかどうかはともかくとして、市民に見せていくことも大事だと思う。

○重点戦略

- ・低炭素という用語はCではなくCO₂を減らすことなのでおかしいのではないかと意見があるが、温室効果ガスは、二酸化炭素のほかにも、メタン、一酸化二窒素など、その多くにカーボンが入っており、それを減らす暮らしが大事であることを指すので、「低炭素」という現在の表現のままで良い。
- ・重点戦略を絞った方が良いという意見があるが、バラエティに富んだ市であるため、これだけの戦略が必要となる訳であり、多様な戦略を総合的に推進することで良いと考える。

○環境・アメニティの分野

- ・ゴミの出し方マニュアルの内容は変わったところがないのに、毎年発行する必要があるのかという意見があるが、実際、変わっているからこそ毎年発行しているにもかかわらず、そのことを気づいてもらえていないことは非常に残念なことであり、行政からの発信が市民に行き届いていないことを実感した。解決策は行政で考えていくと思うが、行政・事業者・市民が一体となって事業を多くこなしていくことで、こういったことがなくなっていくものと考ええる。
- ・「地球温暖化対策に関する情報」は、省エネルギーやエコライフに関する情報だけでなく、ハード面の整備や交通対策などの情報も含むので、すべての情報を発信するためにも、現在の表現のままで良い。
- ・地球温暖化の一番の原因は自動車であると言われており、自動車の代わりに、公共交通や自転車を利用することが重要なので、自動車に頼らないモビリティの開発や道路整備などに力を入れていくべきではないか。

○パブリック・コメント全般にわたっての感想

- ・世界にも誇れるように、浦和、大宮、さいたま新都心という都心をもっと整備すべきである。市としての特徴をもっと集約して打ち出したいが、さまざまな見方があることを感じた。
- ・市民は身近なことに関心があって、産業・経済の分野への意見は少ないと感じた。
- ・意見が多く寄せられた鉄道などの交通利便や駅周辺のまちづくりなどを、オリンピックで外国の方が来ることも意識しながら、重点的に取り組むと良いと感じた。
- ・市内には農家や都市住民など多様な人がいるので、旧4市がまとまって、1つの理念を持つことは難しいと感じた。
- ・ゼネコンは既に資材も職人も不足しているのに、東京オリンピックや震災復興もあって余裕がないため、今後さまざまな開発が遅れるのではないかと懸念している。未来都市を創造するのではなく、地に足の着いた話ができれば良い。
- ・昼間は働いてまちのことを考える暇もない若者の問題意識が見えないので、もっと意見を聞いてみたいと感じた。
- ・道路整備や駅前整備、また、人と自然が共生する緑豊かな美しい都市を目指すということで見沼田圃の整備をもっと強調していきたい。
- ・第2回総会後の社会の変化を意識して、例えば、市内の自転車道路200キロ整備の発表を受けて、自転車利用の意識の高まりなどを強調したり、また、東京オリンピック開催決定を受けて、さいたま市の国際化やおもてなしについて強化しても良いのではないか。
- ・市民の力を活用するという点が弱いように感じる。市民に任せることだけではなく、協力・連携して、市民と一緒に進めるということをもっと言及してはどうか。

○東京オリンピックの開催決定を受けて

- ・東京オリンピックではサッカー会場の候補地になっているだけではあるが、近隣のさいたま市にも世界から人が訪れることも想定されるため、市内の駅前が魅力的でないという意見もあることから、世界の人を迎えるための空間整備を意識することも考えられる。
- ・東京オリンピックを契機として、さいたま市の人材集積、地域資源、交通便の良さなどをグローバルに生かせるよう、世界に発信していくと良い。
- ・さいたまクリテリウムや世界盆栽大会など、さいたま市で行うイベントについて、もっと強調した方が良い。
- ・国際化への対応として、国際的な観光誘致活動を行うなど、今後いかに国際都市を目指していくかが重要である。
- ・東京オリンピックの際には、日韓ワールドカップの際の成功例や市内の宿泊施設が不足したなどの問題事例があるので、当時の関係資料を参考にすると良い。

○その他

- ・分かりにくい用語には注釈や用語説明を入れるなど、工夫すると良い。
- ・素案中の「池沼」という言葉は、差別用語でもあるようなので、使用してよいか確認してもらいたい。
- ・本計画策定後にも、タウンミーティングなどを通して、本計画に関する情報を市民に提供してもらいたい。

議題（２）その他

事務局から、総会の第３回開催日程について連絡しました。

○１１月１１日（月）午後２時から ときわ会館５階大ホール